

課題情報シート

課題名：	江津市におけるU・Iターン促進農村民家モデルの作成		
施設名：	中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	住居環境科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	設計

課題の制作・開発目的

(1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

木造住宅の設計、CG制作

(2) 課題に取り組む推奨段階

建築設計実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ終了後

(3) 課題によって養成する知識、技能・技術

課題を通して、主に木造住宅設計技術の実践力を身に付けます。

(4) 課題実習の時間と人数

人数：1名

時間：216時間

今回、「江津市移住・交流促進協議会」における活動の一つとして実施された「コンパクト農村民家モデルの作成とPR」事業へ参加させていただくことになりました。

この事業は、田舎暮らしを希望する他地域の方に江津市の魅力を知ってもらい、理想の田舎暮らしを提案できるような民家モデルを作成、PRしていこうとするものです。内容は、都市住民の田舎暮らしニーズを反映したコンパクトな農村民家モデルの作成とそれをPRするためのパンフレット作りです。

今回は、日本海に面しているという立地を活かした「海辺の家」と、中国山地を流れる大河、江の川沿いにある「山間の家」の二つの案を作成するということが決定しました。その中で、「山間の家」のプランニング及びパンフレット用のパース作成を担当することにより木造住宅の実践的設計手法を身に付けることを目的とします。

課題の成果概要

PRパンフレット「江津で叶える理想の家」(図1)の作成にあたり、中国山地を流れる大河、江の川沿いにある「山間の家」のプランニング及びパンフレット掲載用のパースを作成しました。

プランニングにおいては木造住宅の実践的設計手法を身に付けることを目的に、魅力ある暮らし方が提案できるような間取りや外観をもつ江津の特色を活かした住宅を設計しました。建築士会の方と何度も打合せを重ねながら、江津の魅力を打ち出せる住宅の設計を完成させました。(図2)また、設計した住宅のイメージや特徴を十分に提案できるように、3次元CADによるCG画像制作によってパースを完成させました。(図3～5)パンフレットはこのCG画像によって暮らし方をイメージしてもらうことが重要なため、よりリアリティのある画像の制作を目標に完成させました。

パンフレットは試し刷りしたものをもとに、印刷業者の方と建築士会の方をまじえて話し合い、さらに細かく修正重ねながら完成に至りました。

今回、依頼を受けそれを達成するという事業に参加するなかで、実際に仕事をするというのはこういうことかと思いながら作業ができ、その中でまだまだ学生気分「仕事」というものに対する意識の甘さを学生自身が実感することができました。



図1 完成したパンフレットの表紙

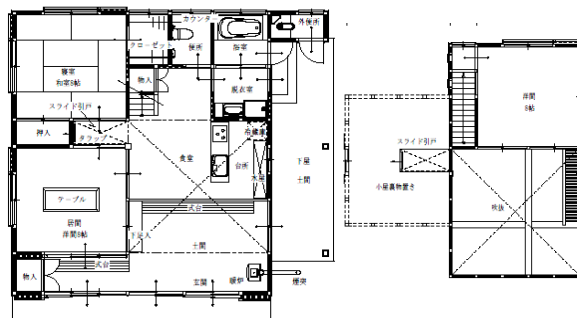


図2 平面図

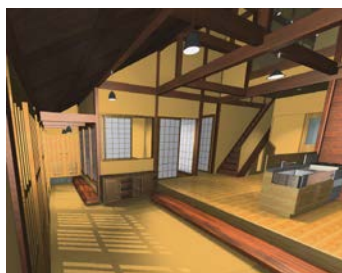


図3 内観パース1



図4 内観パース2



図5 外観パース

<制作過程の概要>

今回、実施した作業の流れは図6に示すとおりです。

プランニングの協議については、幾度も重ね、修正を加えていきました。また、学生をその場に参加させ、自らプレゼンをさせることで緊張感のある現場を経験させることができました。

内観パース、外観パースの作成においては画像処理ソフトの講習会を受講させ、よりリアリティのある画像の作成を目標に持たせました。

また、パンフレット制作における構成協議の場にも学生を積極的に参加させ、事業における全ての流れを把握させることで複数の人間の関り合いにより全体が進んでいるということを確認させました。

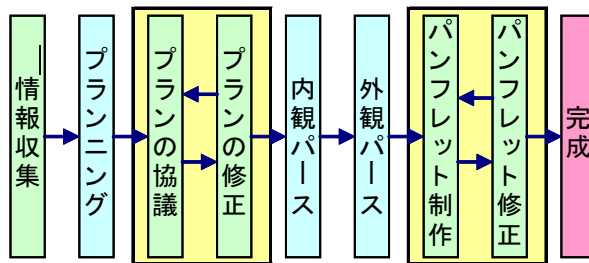
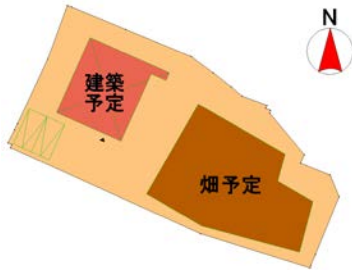


図6 制作の流れ

<指導案的イメージ>

今回の課題を通して養成される能力、課題制作のポイント、訓練ポイントについて以下に紹介します。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作のポイント	訓練（指導）ポイント
<p>○与えられた設計条件における木造住宅設計の実践力を身に付けることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集能力 ・プランニング力 ・設計協議の進め方 	<p>◇木造住宅設計</p> <p>まずは、周辺状況の把握をはじめとする情報収集をさせました。また、同じような条件における多くの実際の設計事例を見せることにより、イメージを膨らませました。</p> 	<p>●授業のなかでは実際に何かに使われるという緊張感がなかったが、こういった事業に参加させることにより、緊張感が生まれると同時に、現実的なより深い設計力を身に付けさせることができます。</p>

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作のポイント	訓練（指導）ポイント
<p>○3次元 CAD ソフトを用いた CG 画像の制作技術の実践力が身に付きます。</p> <p>○幾度の協議を繰り返すことなど、1つの事業を達成するまでの過程を学ぶことができます。</p>	<p>◇CG制作 実習において習得した3次元ソフトを使用したCG画像作成に加え、よりリアリティのある表現をするための画像処理技術を、授業とは別にCGソフト講習会を受講させることにより習得させました。</p>  <p>◇協議への参加 出来上がったプランを持って建築士会の理事会に参加しプレゼンをさせました。また、それに対して出た意見をまとめ、それらを反映したプランに修正するなど、設計を進めていくうえで実際の流れを体験させることができました。</p> <p>さらに、完成したプランとCG画像に基づいた印刷業者とのパンフレット構成の打ち合わせ現場にも参加させ、意見を出さるなどをし、本事業に関する他団体との協議現場を幾度も経験させました。</p> 	<p>●完成したパンフレットの中核を担うCG画像となるリアリティのある画像制作の追及、並びに作成ができます。</p> <p>●建築士会の理事会にてプレゼンをしたり、意見をまとめた形へのプラン修正など、事業に関する幾度の協議に参加させたことは、学生にとってはかなりの重荷だったかもしれないが、普段の授業では経験することのできない実践的な、貴重な経験をさせることができました。</p>

<所見>

こういった事業に学生を参加させることは、普段の授業では経験することのない実際の現場での緊張感や責任感を学生に体験させることができるため、大いに有効であると考えます。

また、プランニングやCG制作についても、実践的なより深い部分まで実施することができましたので、学生には良い刺激になり、1つの事業を達成することの楽しさや難しさを学ばせることができたと感じています。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校
住 所 : 〒695-0024
島根県江津市二宮町神主 1964-7
電話番号 : 0855-53-4567
施設 Web アドレス : <http://www.ehdo.go.jp/shimane/poly-col/index.html>